

令和元年度奈良市PTA連合会総会

市P連は「学びの場」
お互いを高め合えるコミュニティーに



ご公務の合間を縫ってご出席くださった仲川げん奈良市長からは、「これからの激動の時代に、守っていく部分はきちんと守りながらも、時代の変化を先読みして、変えていくところはしっかりと変えて行かなければならないと思っています。奈良市で育って良かった、奈良市の教育を受けて良かった、と多くの子ども達に思っていたいただけるような教育を目指して、教育委員会、PTAとタッグを組んで頑張っていきたいと思っています。」とご挨拶をいただきました。



令和元年度 役員・会計監査委員のみなさん

6月21日(金)ならまちセンターにおいて、令和元年度奈良市PTA連合会総会を開催しました。今総会では、奈良市PTA連合会規約第16条(1)の改正が提案されました。鳥崎雅行副会長(登美ヶ丘中)が司会を務め、青木一和副会長(二名小)の開会宣言で令和元年度総会が幕を開きました。小川泰二会長(春日中)の挨拶の後、来賓を代表して仲川げん市長よりご祝辞をいただきました。議長団には、津田幸幼稚園部会



発行人 小川泰二
奈良市PTA連合会
奈良市三条本町1-80
TEL 35-6388
編集 市P連広報委員会
印刷所 エムエーグラフィック

CONTENTS

1P 令和元年度奈良市PTA連合会総会 コラム《万華鏡》
2P 第1回リーダー研修会 『奈良市の取り組む未来型教育について』
第2回中高校部会
3P 令和元年度要望書提出 PTAのお金のおはなし
感謝状授与者 単位PTA発行 広報紙展示会案内
4P みんなで学べる 研修会案内
子育て・エトセトラ 編集後記

台風や豪雨のため警報が出るのが多く、一旦中止になった部会を再度開催する際の会場確保や日程調整が困難であることや、単位PTAの運営をしながら部会の運営に当たる理事の負担軽減を考慮し、「年間6回は開かなくてはならない」を「原則として5回以上開催する」に改正することが提案され、拍手で承認されました。

令和元年度役員選考について、坂口好美選考委員長(大安寺小)より「第4回理事会において選考委員会が役員を選出することに決まり、校種のパラメータを考慮しつつ、市P連での役員、理事経験のある方をお願いしました。皆さんお忙しい中、単位PTAのご理解のもと快くお引き受けくださいました。」との報告がありました。先の部会で選出された3名の会計監

査委員とともに拍手で承認され、新体制が整いました。新役員を代表して小川会長から「昨年度までの経験を踏まえて、より深くPTAのあり方を考えていく中で、市P連を学びの場として、意見を出し合い、お互いを高めっていくことができたと思っています。」と挨拶がありました。

司会を吉川潤一副会長(平城西中)に交代し、上田祐輔副会長(三確小)が「奈良市PTA連合会の役割」を読み上げました。その役割を受け、仲西副会長から令和元年度活動計画案が、それに伴う一般会計予算案が市村規副会長(西大寺北小)より、特別会計予算案が尾形副会長より提案され、承認されました。

最後に野口和代副会長(二名幼)の挨拶で閉会しました。

令和元年度役員・会計監査委員・相談役・理事

- 会長 小川 泰二(春日中)
- 副会長 尾形 裕明(三笠中)
- 市村 規美(西大寺北小)
- 野木 一和(佐保小)
- 吉川 潤一(平城西中)
- 会計監査委員 廣中 敬子(朱雀こども園)
- 柴田 純(月ヶ瀬小)
- 中家 里美(育英西中)
- 相談役 畑中 康宣(平成29年度市P連会長)
- 岡田 和夫(平成28年度市P連会長)

- 顧問 道端 孝治(高雄第三小)
- 理事(◎部長 ○副部長) 中高校部会 ○生島 幸枝(都南中)
- 佐伯明日香(平城西)
- 山村一彦(若草中)
- 福田亜紀子(京西中)
- 小谷 由香(二名中)
- 中野 信子(高雄南中)
- 山田 美樹(平城東中)
- 子守 秀典(都祁中)
- 小学校部会 ○有長 直代(済美小)
- 岡本 亜弥(都祁小)
- 伊田 隆(東市小)
- 石田 稔子(登美ヶ丘小)
- 下田 岳志(飛鳥小)

- 南條 雅哉(青和小)
- 津高 明佳(神功小)
- 橋長 紗栄(済美南小)
- 八田 陽子(鼓阪北小)
- 北浦 康江(佐保台小)
- 松山 愛(佐保川小)
- 峰本 恭直(明治小)
- 石田 通大(左京小)
- 西村 吉博(鳥見小)
- 幼稚園部会 ○羽野 路子(三確幼)
- 吉田 あゆみ(六条幼)
- 阿部 靖子(大安寺幼)
- 栗延 千夏(東登美ヶ丘こども園)
- 北口 美緒(西大寺北幼)
- 倉橋 佳子(高雄第三幼)
- 有清 莉子(神功こども園)
- 山上 莉代(大安寺西幼)
- 広報委員会 橋長 紗栄(済美南小)
- 委員他11名

「正義を行おうとすれば、自分も深く傷つるのだ。でも、そういう捨て身、献身の心なくして、正義は決して行えない」ということでした。太平洋戦争で出兵した経験を持つ作者の思いがそこにあるのでしょ。●作品の捉え方は人それぞれだと思います。子どもにも見えるものも見えないものも親の判断です。ただ、周りの声や見たい目に惑わされず、そこにある物事の本質や込められた思いに気付くことができる大人でありたいと思います。アンパンマンには優しく思いやり、愛と勇気が溢れているのも事実です。●今回の「アンパンチ論争」で、長男の小さかった頃を思い出しました。得意げにライダークレックをお見舞いして大目玉をくらったなあ。その長男も今年で28歳。温厚な会社員です。

みんなで学べる研修会

第4回全会員対象研修会

TBS「ピピット」でお馴染みの

今回の講師は
漫画家の倉田真由美先生!

人に愛される子を育てる～魔法のアドバイス～

まわりのみんなから愛される子(大人)に育ってほしい...
我が子の「愛され力」を育てる「モテ育」とは?
魔法のアドバイスでそれぞれの「モテ育」を始めてみませんか?



倉田真由美先生プロフィール

昭和46年福岡生まれ。一橋大学商学部卒業。平成7年、講談社「ヤングマガジン」でギャグ大賞をとり漫画家デビュー。代表作はダメ男を渡り歩く女たちを描いた「だめんず・うぉ〜か〜」。ドラマ化などもされ、「だめんず」も流行語に。現在は、ウェブサイトBRAVA(ブラーバ)にて「イラダン」連載中。

マンガ・エッセイなどの執筆活動の他に、恋愛・男女共同参画・子育て・文化などのテーマで、講演・トークショー、テレビ・ラジオ出演など多方面で活躍中。

《主な出演》
TBS「ピピット」
MXテレビ「バラ色ダンディー」

みなさんでぜひご参加ください!

子育て・エトセトラ
▼もうすぐ夏休みも終わるやね。
▼宿題はもう終わった? うちの子、環境保護のポスター残ってる。
▼うちは大体終わったみたいよ。
▼夏休みが短くなったから、今までより宿題少なかった気がする。
▼そうなん? うちは去年と変わらないよ。ドリルの〇付け、3人分やから結構大変。
▼うちの子、計画的にできないから、今、宿題の追い込み中やで。
▼この前ニュースで、宿題代行サービスっての見たよ。
▼子どもの筆跡に似せて書いたり、わざと間違った答えにしたりするんやっぺ。
▼私はフリマで自分の子どもの作文売ってる人がいてびっくりした。
▼それって先生騙すことになるやんね。
▼っていうか、宿題自分でやらな意味ないやん。
▼代行つて言えば、少し前にPTA代行サービスが話題になったね。
▼保護者の代わりに作業とか、学級懇談会とかに出席するサービス。
▼え、懇談会に全然関係ない人が座ってたらびっくりやね。
▼そういうサービス使っても絶対出席しないといけないうってことが問題だよな。
▼そもそもできる人ができる時に、というのがPTAなんだから。
▼お互いに助け合って気持ちよく活動できる雰囲気になりたいよね。

万華鏡

お盆休みの真つ只中にワイドショーやネット上で繰り広げられたアンパンチ論争。翌日には「#アンパンチに代わる非暴力的な解決策」というワードがツイッターでトレンド入りしました。●事の発端は、ネットメディアが配信した記事でした。「アンパンチ」でばいきんまんをやっつける場面を見た乳幼児が「暴力的になる」と心配する親の声があるというものです。調べてみると「アンパンマンは暴力的」という批判は以前からあり、2002年頃から議論が交わされているという記事でした。●ワイドショーではコメントター

現場のニーズに合った予算措置を 『とどけ!PTAの声』 令和元年度要望

第2回理事会でまとめた要望を提出

8月21日(水)、奈良市役所24会議室において「令和元年度要望書」を小川会長から中室雄俊奈良市教育長に手渡しました。参加した市P連役員、各部長、相談役は、教育長をはじめ教育委員会事務局の方々と要望内容に沿って話し合いを行いました。

昨年度より奈良市の教育や教育予算についての学習会を重ね、昨年度末の部会にて96校園の声を集めました。それをもとに7月12日開催の第2回理事会で検討し、要望書を作成しました。

今年度の部会の学習活動に「PTA会費の使い方」があります。各単位PTAの現状を把握するために、本来公費で賄われるべきものがPTA会費から支出されている現状を踏まえ、学校園予算(学校園経費)の増額を今年度の要望の大きな柱としました。

また、小学校3〜6年生の35人学級の表現や各学校への学校司書の配置、幼保再編計画の早急な提示など、要望が多かったものをまとめPTAの声を届けました。

中室雄俊教育長の挨拶の後、小川会長から、今年度全ての学校園へエアコンを設置するために、市長をはじめ教育長や教育委員会の方々にご尽力いただいたことへのお礼が述べられました。要望内容に沿って、教育委員会事務局の担当の方から説明を伺いながら、役員や各部会の代表が現状や思いを伝えました。要望書の回答は次回の広報紙に掲載します。

社会の変化と学校

私たちは、今、大きな社会の変化の中にいます。内閣府が作った「Society 5.0すくそこの未来」というプロモーションビデオ(※1参照)にあるような社会(ドローン宅配やAI家電、遠隔診療や無人走行バスなど)は「すぐそこの未来」ではなく「すでに訪れ始めている現実」と言ってもいいかもしれません。こうした社会で子供たちは大人になり、生きていくのです。一方、学校を眺めてみると、明治から大正、昭和、平成、令和と、学習の様子はあまり変わっていません。教科書とノートを使って先生と子供が向かい合い、チャョク・アンド・トークで進める授業スタイルです。しかし、今、その「全員が同じ内容を一齐に学ぶ」という学習スタイルが大きな変革期を迎えています。これからの教育は、子供一人一人にカスタマイズされた学習、いわゆる「個別最適化された学び」へと変わっていく必要があります。

奈良市が、現在、進めている「個別最適化された学び」の一つに「学びなら」があります。「学びなら」は、算数の個別最適化学習のことで、小学校4年生以上の学年で実施されています。単元が終わると、子供たちは確認テストを行います。そのテスト結果をAI(人工知能)が分析し、一人一人に合わせて個別に復習問題を用意し、学習の定着や発展的な学習を行う仕組みです。

もう一つは、「オンライン英会話」です。中学校の子供たちが3〜4人でグループになり、パソコンの画面を挟んで、25分間、海外のネイティブの講師と英語で会話をします。教材は、奈良市の英語カリキュラムに合わせて用意され、講師は子供一人一人の会話力に合わせた対応をしてくれ、まさに、個別最適化された学びといえます。

奈良市の個別最適化された学び

奈良市の未来型教育を語る上で、一条高校のことは外すことができません。というのも、一条高校の学科再編は、これからの社会を見据えたものだからです。新聞報道にあったように、一条高校は、来年度の入生から数理解科と人文科学科を再編して普通科とし、その中に科学探究コースを設置します。普通科と外国語科の2学科になります。全体のクラス数は変わりません。後半は、このことについてお話しします。

今回の学科再編は、3年前に藤原和博前校長を招聘して校内の環境を整備し、よりよい教育を目指して行ってきた教育改革の一環として行っています。そこには、「Society 5.0」と言われる社会の中で新しい価値観をつくり出していくイノベーターや自分の力で社会を変えていくようなチャレンジ精神が、世界に飛び出しグローバルに活躍できる人材が育つてほしいという思いが込められています。

このような人材を育てるためには、「自分なりの問いを立て、仮説に基づいて問題を追及し答えにたどり着く」という学びが大切です。それを「探究学習」と言います。この「探究」する力を発揮するためには、それぞれの教科での深い知識やスキルが求められます。理系、文系に進む者であっても、体系に進む者であっても、高校時代は、すべての教科をしっかり学び、確かな学力を身に付けることが大切です。

一条高校では、STEM教育を学びの基盤とします。(※2参照)その確かな学力を土台として、文理を融合した柔軟な発想で物事をとらえ、論理的に考える。一条高校(参考)

※1 内閣府「Society 5.0すくそこの未来」ビデオは、内閣府のHPで「ご覧になれます」(https://www.gov-online.go.jp/cam/s5/)

※2 STEM教育
STEM教育とは、Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Arts(芸術)・Mathematics(数学)のそれぞれの頭文字をとった造語で教科横断的な学びに力を入れる教育を指します。

※3 一条高校の学科再編とその教育について
要請があれば、直接教育長が各校のコンパニオン研修会でお話をされるそうです。(希望がありましたら教育政策課(34-5386)までご連絡ください。)

第2回中高校部会 奈良市立一条高等学校 来年度新入生より学科を再編

普通科7学級(うち科学探究コース2学級)・外国語科2学級

一条高校の学科再編の発表をうけ、7月3日(水)第2回中高校部会では、奈良市立一条高校吉田信也校長先生をお迎えし、来年度から一条高校の教育がどのように変わるのかをお聞きしました。

一条高等学校では、令和2年4月より、従来の数理科と人文科学科を再編して普通科とし、その中に科学探究コースとして2学級(普通科・外国語科)9クラスとなります。吉田校長先生は穏やかな話しぶりです。なぜ今学科再編するのか、来年度からの学科編成とその特徴、入試選抜の概要についてわかりやすく説明してくださりました。

質疑応答では、「Cラーニングを取り入れて子ども達はどう変わるのか」「外国語科の取り組みはどう変わったか」「外国語科のコースの「探究」とは何を指すのか」など、活発に質問が出され、関心の高さがうかがえました。

2020年度(令和2年度)学科編成・クラス数

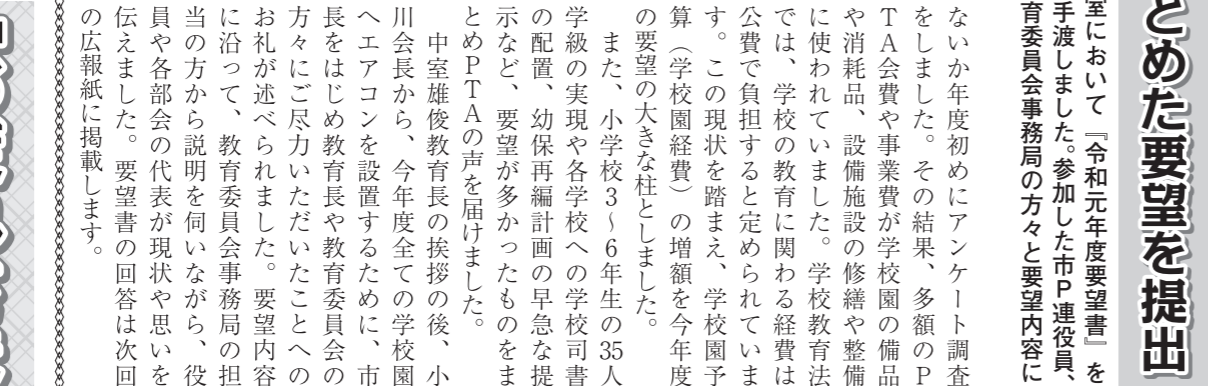
クラス	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1年	普通科			普通科(科学探究コース)			外国語科		
2年	普通科			外国語科			数理科 数理科		
3年	普通科			外国語科			数理科 数理科		

要望書

奈良市PTA連合会
会長 小川 幸二

日頃、奈良市PTA連合会の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。今年度、学校園へエアコンが設置され、子どもたちが暑い夏を乗り越える学習環境が向上し、感謝しております。奈良市PTA連合会としても長年の願いを叶えたいと考えています。そこで、昨年より部会活動を通じての学習会を重ね、子どもたちの声に合わせた予算措置が行われているのか、また教育予算がどのようになっているのかを学習しました。今年度末に部会・中高校部会において96校園のPTAの声を集め、さらに今年度の部会で検討のうえ、次の通り要望いたします。

1. 学校園予算(学校園経費)の増額をお願いします
昨年度部会にて、PTAが学校園の備品等を購入することについての意見が出され、今年度はPTAの会の思い強い方々を大きなチームとして取り組むこととなりました。4月に部会で開くべき経費を各単位PTA会費から支出していないアンケート調査をしました。その結果、小園のアンケートは90万円近い金額が支出されています。その中でも、特に運動会の物入れや19校園で支出しており、金額も200万円を超えています。園児・児童・生徒の熱中症予防のためのセントラル空調は市で予算化していただくなど、教育現場のニーズに合った予算措置をお願いします。
子どもたちの教育や環境整備がPTA会費で行われている事は、会の理念や趣旨にそぐわず、会費の公平性に反するものです。すべての子どもたちが、日々安心・安全に充実した学校園生活が送れるように、学校園の経費の増額をお願いします。
2. 小学校の3-6年生の35人(特別支援の子も含む)学級の増設をお願いします
3. 各学校への学校司書の配置と学校園整備の要望をお願いします
4. 令和2年度以降の幼保再編計画の早急な提示をお願いします
5. 大学入試が変わり、子どもたちに求められる力が変わってきている中、高校再編により各校の特色や目指す学校像も変わり、先を見据えた進路選択が難しい現状にあります。今後の状況の変化に対応し、生徒一人一人の学力や能力、適性を考えたよりきめ細やかな進路指導をお願いします
6. 一条高等学校からの要望(参照にて別付)



- ### 「お疲れさまでした」感謝状 授与者
- 市P連平成30年度
役員・会計監査委員、理事
- 小川 幸二(春三中)
 - 尾形 裕明(三笠中)
 - 仲西 桂子(都跡中)
 - 坂口 好美(大安寺小)
 - 上田 祐輔(三碓小)
 - 青木 一和(二名小)
 - 大西 一夫(登美ヶ丘中)
 - 鳥崎 雅行(登美ヶ丘中)
 - 上島三佐子(あやめ池幼)
 - 中岡佳奈子(都祁小)
 - 安藤 裕輔(田原小)

- 土谷 智子(登美ヶ丘北中)
- 大門 和子(都南中)
- 大場 宏純(飛鳥中)
- 稲葉 良岩(一条高)
- 野口 明子(富雄中)
- 田畑 光奇(興東館柳生中)
- 長田 由起(富雄第三小)
- 山田 義彦(伏見中)
- 堀藤千津子(伏見小)
- 依田樹子(平城小)
- 田中祐一郎(大宮小)
- 小西 幸子(鼓阪小)
- 白川久美子(辰市小)

- 井筒 慶子(明治小)
- 岡田美抄緒(あやめ池小)
- 中村 真央(鶴舞小)
- 市村 規美(西大寺北小)
- 幾谷 英美(大安寺西小)
- 北川 みほ(伏見南小)
- 久保 文枝(帯解小)
- 水上 雅裕(常盤南小)
- 西村 愛子(石堂小)
- 津田 幸(富雄北幼)
- 友澤 理恵(鳥見幼)
- 大石 佳代(大宮幼)
- 佐藤あゆみ(済美幼)
- 徳久 圭(伏見幼)
- 河野 和恵(伏見南幼)
- 福井 智子(都跡こども園)
- 大西三千代(帯解こども園)

広報展示会のご案内

毎年恒例の『奈良市PTA連合会単位PTA発行 広報紙展示会』を下記の要領で開催します。各校園PTAの特色あふれる広報紙をぜひご覧ください。

○日時: 9月11日(水)~13日(金)
9:00~16:00(13日のみ12:00まで)

○場所: 奈良市生涯学習センター1Fギャラリー

○展示数: 市P連加入PTA広報紙 180枚

入場無料、申し込み不要でどなたでも来ていただけます。皆様お誘い合わせのうえ、多数ご来場ください。

第1回リーダー研修会 奈良市の取り組む未来型教育について より魅力ある一条高校に



奈良市では、「学びなら」をはじめとした新しい教育や一条高校の学科再編など、これからの社会に対応した教育を推進しています。5月28日(火)の研修会では、奈良県文化会館に中室雄俊奈良市教育長をお迎えし、直接会員の皆さんに奈良市が取り組もうとしているこれからの教育について、お話ししていただきました。

「学びなら」へと変わっていく必要があります。奈良市が、現在、進めている「個別最適化された学び」の一つに「学びなら」があります。「学びなら」は、算数の個別最適化学習のことで、小学校4年生以上の学年で実施されています。単元が終わると、子供たちは確認テストを行います。そのテスト結果をAI(人工知能)が分析し、一人一人に合わせて個別に復習問題を用意し、学習の定着や発展的な学習を行う仕組みです。

もう一つは、「オンライン英会話」です。中学校の子供たちが3〜4人でグループになり、パソコンの画面を挟んで、25分間、海外のネイティブの講師と英語で会話をします。教材は、奈良市の英語カリキュラムに合わせて用意され、講師は子供一人一人の会話力に合わせた対応をしてくれ、まさに、個別最適化された学びといえます。

一条高校のことは外すことができません。というのも、一条高校の学科再編は、これからの社会を見据えたものだからです。新聞報道にあったように、一条高校は、来年度の入生から数理解科と人文科学科を再編して普通科とし、その中に科学探究コースを設置します。普通科と外国語科の2学科になります。全体のクラス数は変わりません。後半は、このことについてお話しします。

今回の学科再編は、3年前に藤原和博前校長を招聘して校内の環境を整備し、よりよい教育を目指して行ってきた教育改革の一環として行っています。そこには、「Society 5.0」と言われる社会の中で新しい価値観をつくり出していくイノベーターや自分の力で社会を変えていくようなチャレンジ精神が、世界に飛び出しグローバルに活躍できる人材が育つてほしいという思いが込められています。

このような人材を育てるためには、「自分なりの問いを立て、仮説に基づいて問題を追及し答えにたどり着く」という学びが大切です。それを「探究学習」と言います。この「探究」する力を発揮するためには、それぞれの教科での深い知識やスキルが求められます。理系、文系に進む者であっても、高校時代は、すべての教科をしっかり学び、確かな学力を身に付けることが大切です。

一条高校では、STEM教育を学びの基盤とします。(※2参照)その確かな学力を土台として、文理を融合した柔軟な発想で物事をとらえ、論理的に考える。一条高校(参考)

※1 内閣府「Society 5.0すくそこの未来」ビデオは、内閣府のHPで「ご覧になれます」(https://www.gov-online.go.jp/cam/s5/)

※2 STEM教育
STEM教育とは、Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Arts(芸術)・Mathematics(数学)のそれぞれの頭文字をとった造語で教科横断的な学びに力を入れる教育を指します。

※3 一条高校の学科再編とその教育について
要請があれば、直接教育長が各校のコンパニオン研修会でお話をされるそうです。(希望がありましたら教育政策課(34-5386)までご連絡ください。)

第2回中高校部会 奈良市立一条高等学校 来年度新入生より学科を再編

普通科7学級(うち科学探究コース2学級)・外国語科2学級

一条高校の学科再編の発表をうけ、7月3日(水)第2回中高校部会では、奈良市立一条高校吉田信也校長先生をお迎えし、来年度から一条高校の教育がどのように変わるのかをお聞きしました。

一条高等学校では、令和2年4月より、従来の数理科と人文科学科を再編して普通科とし、その中に科学探究コースとして2学級(普通科・外国語科)9クラスとなります。吉田校長先生は穏やかな話しぶりです。なぜ今学科再編するのか、来年度からの学科編成とその特徴、入試選抜の概要についてわかりやすく説明してくださりました。

質疑応答では、「Cラーニングを取り入れて子ども達はどう変わるのか」「外国語科の取り組みはどう変わったか」「外国語科のコースの「探究」とは何を指すのか」など、活発に質問が出され、関心の高さがうかがえました。

2020年度(令和2年度)学科編成・クラス数

クラス	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1年	普通科			普通科(科学探究コース)			外国語科		
2年	普通科			外国語科			数理科 数理科		
3年	普通科			外国語科			数理科 数理科		

学科再編の概要(2020年4月の新入生募集より)

普通科7学級(うち科学探究コース2学級)・外国語科2学級

求める生徒像と教育課程

	普通科	普通科 科学探究コース	外国語科
求める生徒像	幅広いことに興味があり、高等学校での学びや体験をとおして将来の進路を考えたい生徒	科学的な視点での探究活動に興味関心があり、より主体的に学びたい生徒	コミュニケーションツールとしての英語を用いて、発表・表現することに興味関心のある生徒
カリキュラムの特色	<<共通した特色>> ◆Arts(人文・社会科学)とSTEM(自然科学)を関連付けた学習を取り入れます。 ◆文系・理系の教科をバランスよく学び、大学入試改革にも対応する、問いを立てる力、探究する力を育成します。	◆科学的な視点での探究活動を、3年間一貫して充実させます ◆基礎から発展まで一貫した学習をします。 ◆進路に応じて、2年より「文系」「理系」コースに分かれます。	◆英語で議論できる力を育成し、第2外国語も学習します。 ◆進路に応じて、2年より「文系」「理系」コースに分かれます。
進路	国公立大学及び私立大学等への進学を目指します。	国公立大学の理系学部(看護・医療系を含む)を中心とした進学を目指します。	国公立大学及び私立大学、海外大学をはじめ理系を含めた進学を目指します。

入学者選抜の概要

	普通科	普通科 科学探究コース	外国語科
選抜	普通科 一般選抜(3月) 奈良市・生駒市・山添村(旧東山地区) 200人(5学級)	普通科 科学探究コース 特色選抜(2月) 奈良県 80人(2学級)	外国語科 推薦選抜(2月) 奈良県 80人(2学級)